



IHG

人工膝関節置換術（TKA）5週パス によるADL向上への取り組み

—回復期リハビリテーション病棟からの報告—

リハビリテーション科 吉川良枝、伊藤寛子
三木悠平、山田太一
尾上雄規、西原麻織
整形外科 岩瀬美保
5階病棟 宇田育美

HITO 病院

【はじめに】

当院で使用していたTKAパスは1週間であり、急性期病棟での対応はあるも、回復期病棟では標準化されたものがない状態でした。



©Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

【目的】

患者のADL向上



- ・リハビリスタッフ間で治療を標準化する
- ・同職種に加え、多職種間で情報共有する
- ・急性期から回復期へと一本化した流れをつくる
- ・今後、地域での連携を図る

5週パス作成・運用



©Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

1週パスの内容



©Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

リハビリ

《術後1日目》

- ①初期評価
- ②バイタルチェック
- ③術後経過良好
- ④リハビリの受け入れ良好
- ⑤ギャジアップ90°

作業	結果	確認する項目・期・7日分
リハビリ		①初期評価 ②バイタルチェック ③術後経過良好 ④リハビリの受け入れ良好 ⑤ギャジアップ90° 実施
目標	即座指導実施	①バイタルチェック 全項目正常値 ②バイタルチェック 全項目正常値 ③術後経過良好 ④リハビリの受け入れ良好 ⑤ギャジアップ90° 実施
確認	医師確認事項 看護師確認事項	①バイタルチェック 全項目正常値 ②バイタルチェック 全項目正常値 ③術後経過良好 ④リハビリの受け入れ良好 ⑤ギャジアップ90° 実施

©Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

リハビリ

《術後6日目》

- ①バイタルチェック
- ②リハ室へ降りれる
- ③平行棒内歩行訓練
- ④歩行器歩行訓練
- ⑤排泄動作訓練

リハビリ

《術後7日目》

- ①T-cane歩行訓練
- ②膝屈曲Active90°
- ③ADL訓練
- ④応用動作訓練

©Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

Copyright 2015 SHIBUKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

5週パスの内容



リハビリ	≪術後1日目≫ 膝屈曲 ◦ (他動 ◦) 伸展 ◦ (他動 ◦) ①ROMと筋カトレーニング ②端座位開始 ⑤痛みの評価 (VAS) ③大腿周径 ⑥荷重量のチェック ④JOAスコア ⑦四頭筋MMT
病棟	①病前生活 (在宅) ADL (自立、介助) (入浴以外自立) APDL (買い物、調理、掃除、その他：) 寝室 (布団、ベッド) 屋内移動 (独歩、杖、歩行器) 屋外歩行 (独歩、杖、歩行器) ②認知症の有無 ③MSW初回面談

スタッフ名	術後10日目	術後19日目	術後19日目
リハビリ	≪術後10日目≫ 膝屈曲 ◦ (他動 ◦) 伸展 ◦ (他動 ◦) ①トイレ動作自立 ②病棟内歩行器歩行自立 ③段差昇降開始 (1段2足)		
病棟	①歩行器歩行実施 ②トイレでの排泄実施 ③整容実施 ④シャワー浴評価		

スタッフ名	術後16日目	術後17日目	術後18日目
リハビリ	≪術後16日目≫ 膝屈曲 ◦ (他動 ◦) 伸展 ◦ (他動 ◦) ①杖歩行自立 ②浴槽またぎ動作開始 ③段差昇降実施 (1段1足) ④自主訓練		
病棟	整容・更衣・排泄自立		

【対象】

対象者	TKAを行い当院回復期病棟へ転棟した19症例
急性期1週間パス群 (1週パス群) H25年4月～H26年3月	10例 (男性2例,女性8例,11関節, 平均79.4歳)
急性期～回復期5週間パス群 (5週パス群) H26年9月～H27年4月	9例 (男性2例,女性7例,11関節, 平均74.3歳)

【方法】

調査項目

- 1) 膝関節屈曲120° 他動達成
- 2) 膝関節屈曲120° 自動達成
- 3) 平行棒内歩行自立
- 4) 歩行器歩行自立
- 5) 杖歩行自立
- 6) 階段昇降自立
- 7) 在院日数



※膝関節屈曲120°の状態

※手術日を0日として1)～6)の術後達成日数および7)在院日数をカルテより調査。

【結果】

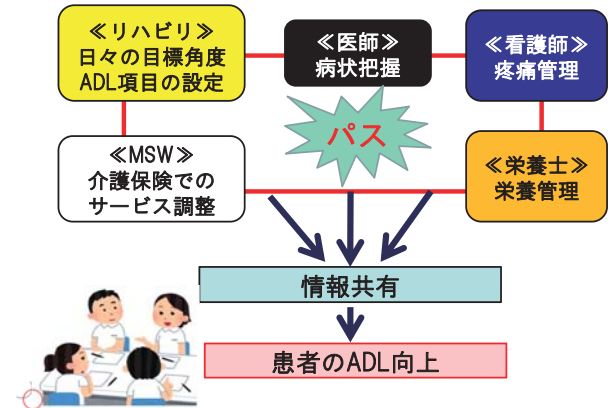
(単位:日)

	膝屈曲 120° 他動 達成	膝屈曲 120° 自動 達成	平行 棒内 歩行 自立	歩行 器歩 行 自立	杖 歩行 自立	階段 昇降 自立	在院 日数
1週 パス 群	23.3	29.3	3.9	11.9	26.8	43.4	59.3
5週 パス 群	8.7	15.0	3.3	8.8	18.5	28.8	50.8



※10日以上短縮がみられた項目を赤で示した。
 ※両群間の各データをt検定を用いて比較した結果、
 有意差は認められなかった。

【考察】



【今後の課題】

- ・ 5週パスのデータ収集を継続し、中間アウトカムの作成を行う。
- ・ 各疾患別で認知症や既往疾患など入院前の能力差に応じて比較検討・バリエーション分析を行い、**当院独自のパス**を作成していく。
- ・ 前方後方連携を担う当院の役割として、**地域連携パス**も視野にいれていく必要がある。